

8-5-3 情報セキュリティ専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会開催

専門委員会開催：8回

(2) 活動の目的

建設コンサルタント活動における各種の情報セキュリティに関する研究を行う。会員各社の情報セキュリティ対策およびマネージメントシステムの構築を支援する情報提供を行う。

建設コンサルタントとしての情報セキュリティのあり方について意見交換の場とする。

(3) 主な内容

a) 情報セキュリティ講習会の開催

建設コンサルタント業界においても、業務上で重要な情報を取り扱っており、十分な情報セキュリティ対策が求められる。

情報セキュリティに関して更なる情報提供・啓発活動を進めるため、会員企業を対象とした講習会を東京で開催した。

内閣官房 CIO 補佐官ほかの外部専門家を講師に迎えた特別講習会とし、WEBセミナーを併催して全国からの参加を可能とした。会場、WEBあわせて約300人の参加を得ており、好評であった。

また会員各社への情報提供の一環として協会HP（会員限定）に講習会テキストを公開した。

<講習会開催概要>

開催日時：平成30年10月31日(水)13:00～16:40

会場：ホテル グランドアーク半蔵門

主催：（一社）建設コンサルタント協会

CPD：対象プログラム 3.3 ポイント

会場受講者数：105名

ウェブセミナー受講者数：194名

<講習会カリキュラム> 200分 (CPD 3.3)

	タイトル
特別講演 (60分)	政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用に係る基本方針 内閣官房 政府CIO補佐官 西村毅 氏
講演1 (60分)	情報セキュリティ 10大脅威 組織編 独立行政法人情報処理推進機構 黒谷欣史 氏
講演2 (60分)	働き方改革とクラウドセキュリティ SCSK株式会社 山口功 氏／松村卓也 氏
講演3 (60分)	最近のインシデント発生状況とその対応 一般社団法 JPCERT コーディネーションセンター 米澤 詩歩乃 氏

b) 講習会の録画配信

10月に開催した情報セキュリティ講習会（特別講習）の録画を協会HP上で公開した

公開期間：平成30年12月～平成31年2月

CPD：プログラム1-Cとして認定

期間内に約1,000人の受講があり、3講義での延べ視聴者数は約2,980人、受講証明書のダウンロード数は約1,730であった

c) CASB 製品に関する情報収集

クラウドサービスの普及にともない、クラウドを利用する際の情報セキュリティガバナンスを実現する方策として注目されている CASB (Cloud Access Security Broker) について情報収集を行うこととし、主な製品について提供ベンダーからの説明を受ける専門委員会での勉強会を開催した。

日時	対象製品／説明社
2/14	netskope (SCSK様) ※H29年度より継続
4/26	Elastica (マニカネットワークス様)
6/14	Skyhigh (伊藤忠テクノソリューションズ様)

2. 次年度の活動について

今後とも当業界における情報セキュリティ対策について調査研究を進める。

(情報セキュリティ専門委員会委員長 長岡 尚登)